

救 助



救助業務の状況

本市の救助業務体制は、平成7年4月より4署体制とし、各署に救助隊を配置しています。

教育訓練については、救助隊教育訓練実施計画に基づき、年間及び月間実施計画を定めて気力、体力の充実強化を図り、隊員の技能向上に努めています。

なお、平成14年から特殊災害（生物剤、化学剤に起因する事故等）に対応する資器材の整備強化を図るとともに、近年多発する大規模自然災害やテロ等の特殊災害に迅速的確に対応するため、人命救助に関する高度な知識・技術を身につけた隊員で構成する高度救助隊（スーパーレスキュー松山 2隊14名）を平成18年4月に創設し、中央消防署に配置しました。

救助隊の編成

（総員56名 車両10台）（平成30年4月1日現在）

隊 編 成				人 員	配 置 車 両
高度救助隊	中央消防署	一部	隊長 1 名 隊員 6 名	7 名	救助工作車Ⅲ型（2.9tクレーン付） 特殊災害資機材車
		二部	隊長 1 名 隊員 6 名	7 名	
特別救助隊	東消防署	一部	隊長 1 名 隊員 6 名	7 名	救助工作車Ⅱ型（2.9tクレーン付） 小型動力ポンプ付軽積載車
		二部	隊長 1 名 隊員 6 名	7 名	
救助隊	南消防署	一部	隊長 1 名 隊員 6 名	7 名	救助工作車Ⅱ型（2.9tクレーン付） 小型動力ポンプ付軽積載車
		二部	隊長 1 名 隊員 6 名	7 名	
救助隊	西消防署	一部	隊長 1 名 隊員 6 名	7 名	救助工作車Ⅱ型（2.9tクレーン付） 大型高所放水車 小型動力ポンプ付積載車 拠点機能形成車
		二部	隊長 1 名 隊員 6 名	7 名	



中央消防署 救助工作車Ⅲ型



西消防署 救助工作車Ⅱ型

救助出動等の状況

平成29年中の救助出動件数は、202件（前年163件）、活動件数は、156件（前年123件）であり、前年と比較すると、出動件数は39件（23.9%）、活動件数は33件（26.8%）増加しています。

また、救助人員は148人（前年122人）で、前年と比較すると、26人（21.3%）増加しています。

（各年中）（▲減少）

区 分		平成29年	平成28年	増減 (A - B)	増減率
		A	B	C	(C ÷ B × 100) %
出 動 件 数		202	163	39	23.9
活 動 件 数		156	123	33	26.8
救 助 人 員		148	122	26	21.3
内 訳	男性	88	60	28	46.7
	女性	60	62	▲ 2	▲ 3.2
出 動 台 数		1,129	970	159	16.4
出 動 人 員		3,597	3,150	447	14.2
事 故 種 別 出 動 件 数	火 災	9	9	0	0.0
	交 通	52	43	9	20.9
	水 難	20	13	7	53.8
	自 然 災 害	2	0	2	—
	機 械	7	3	4	133.3
	建 物	86	66	20	30.3
	ガ ス ・ 酸 欠	0	1	▲ 1	▲ 100.0
	破 裂	0	0	0	—
	そ の 他	26	28	▲ 2	▲ 7.1

（注）火災での出動件数は、救助活動を行った件数のみ計上

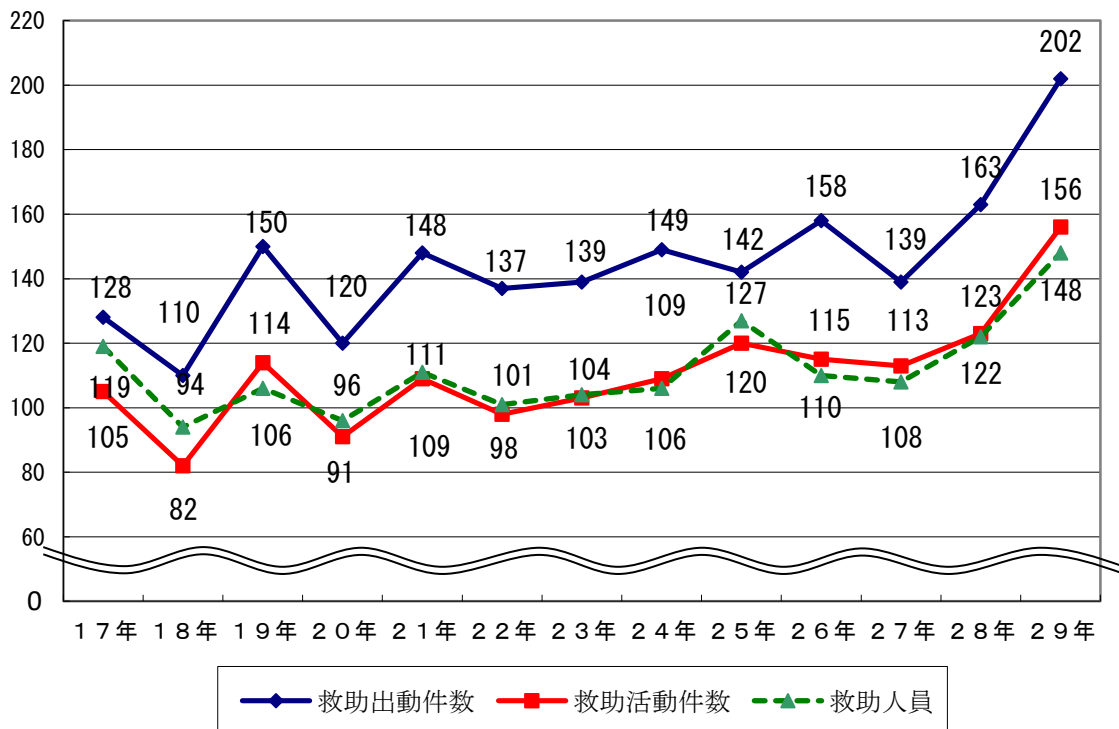
救助出動等の推移

12年前の平成17年を100とした場合、出動件数158、活動件数149、救助人員124となっています。

(各年中) (▲減少)

区分 年	救助出動件数			救助活動件数			救助人員		
	件数	指数	対前年 増減率 (%)	件数	指数	対前年 増減率 (%)	人数	指数	対前年 増減率 (%)
平成17年	128	100	—	105	100	—	119	100	—
平成18年	110	86	▲14.1	82	78	▲21.9	94	79	▲21.0
平成19年	150	117	36.4	114	109	39.0	106	89	12.8
平成20年	120	94	▲20.0	91	87	▲20.2	96	81	▲9.4
平成21年	148	116	23.3	109	104	19.8	111	93	15.6
平成22年	137	107	▲7.4	98	93	▲10.1	101	85	▲9.0
平成23年	139	109	1.5	103	98	5.1	104	87	3.0
平成24年	149	116	7.2	109	104	5.8	106	89	1.9
平成25年	142	111	▲4.7	120	114	10.1	127	107	19.8
平成26年	158	123	11.3	115	110	▲4.2	110	92	▲13.4
平成27年	139	109	▲12.0	113	108	▲1.7	108	91	▲1.8
平成28年	163	127	17.3	123	117	8.8	122	103	13.0
平成29年	202	158	23.9	156	149	26.8	148	124	21.3

(件/人)



事故種別・署別出動の状況

事故種別ごとに救助活動の状況をみると、出動件数で最も多いのは、建物等による事故の86件で、全体の42.6%を占めており、次いで交通事故の52件(25.7%)となっています。

活動件数で最も多いのは、建物等による事故の68件で、全体の43.6%を占めており、次いで交通事故の38件(24.4%)となっています。

また、救助人員についても、建物等による事故が最も多く55人で、全体の37.2%を占めており、次いで交通事故の44人(29.7%)となっています。

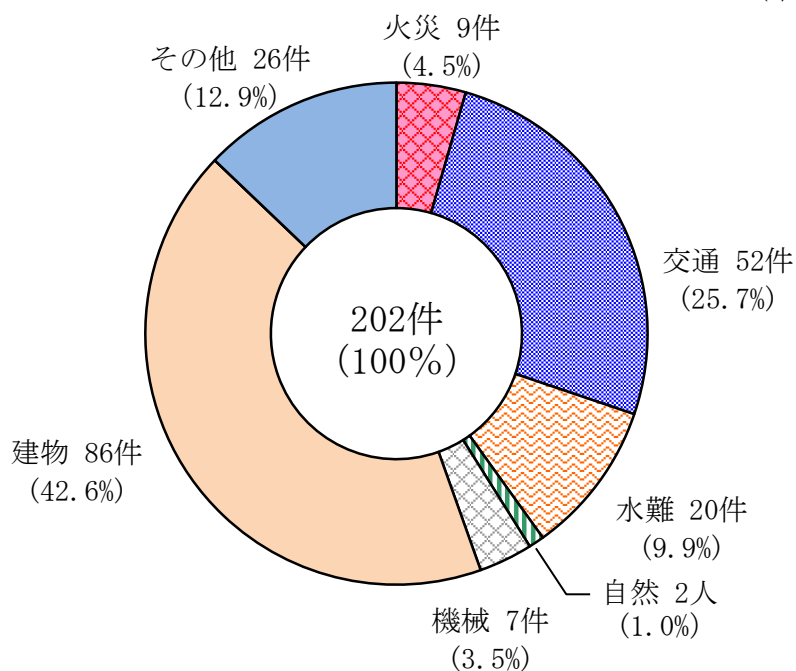
(平成29年中)

署別 \ 事故種別		火	交	水	自	機	建	ガス・酸欠	破	そ	合
		災	通	難	然	械	物		裂	の	計
中央消防署	出動件数	4	22	8	1	2	42	0	0	10	89
	活動件数	4	18	7	1	1	35	0	0	6	72
	救助人員	2	23	7	4	1	24	0	0	6	67
	出動台数	34	111	59	6	13	206	0	0	55	484
	出動人員	139	353	174	18	43	682	0	0	168	1,577
東消防署	出動件数	3	8	5	0	1	17	0	0	5	39
	活動件数	3	7	5	0	0	12	0	0	3	30
	救助人員	3	8	5	0	0	12	0	0	3	31
	出動台数	34	48	34	0	5	86	0	0	21	228
	出動人員	144	148	98	0	15	263	0	0	72	740
南消防署	出動件数	2	17	2	1	1	14	0	0	7	44
	活動件数	2	9	1	1	1	9	0	0	6	29
	救助人員	1	9	1	2	1	7	0	0	6	27
	出動台数	20	88	15	1	7	79	0	0	37	247
	出動人員	96	276	37	3	20	244	0	0	100	776
西消防署	出動件数	0	5	5	0	3	13	0	0	4	30
	活動件数	0	4	3	0	2	12	0	0	4	25
	救助人員	0	4	2	0	2	12	0	0	3	23
	出動台数	0	29	42	0	18	60	0	0	21	170
	出動人員	0	92	114	0	56	183	0	0	59	504
合計	出動件数	9	52	20	2	7	86	0	0	26	202
	構成比(%)	4.5	25.7	9.9	1.0	3.5	42.6	0.0	0.0	12.9	100.0
	活動件数	9	38	16	2	4	68	0	0	19	156
	構成比(%)	5.8	24.4	10.3	1.3	2.6	43.6	0.0	0.0	12.2	100.0
	救助人員	6	44	15	6	4	55	0	0	18	148
	構成比(%)	4.1	29.7	10.1	4.1	2.7	37.2	0.0	0.0	12.2	100.0
	出動台数	88	276	150	7	43	431	0	0	134	1,129
出動人員	379	869	423	21	134	1,372	0	0	399	3,597	

(注) 構成比は、合計しても100%にならない場合があります。

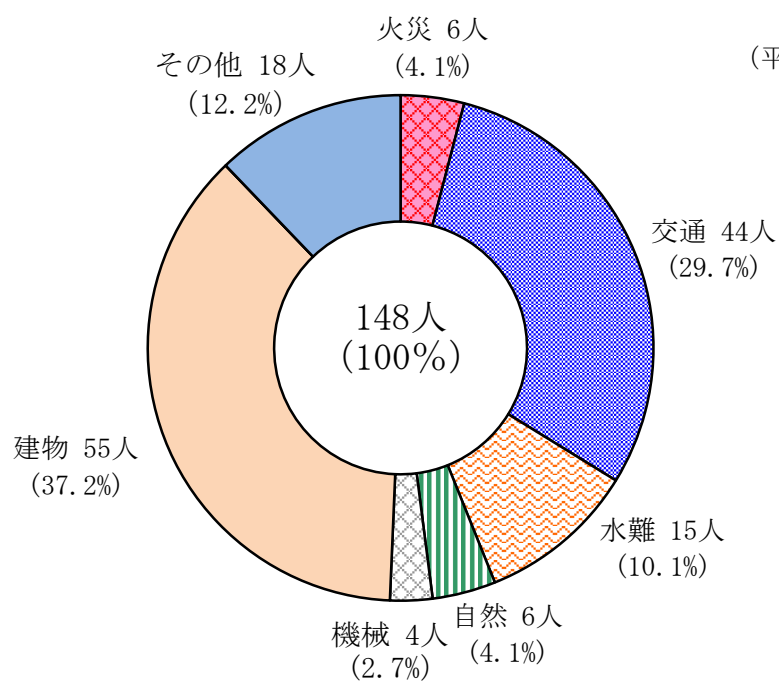
事故種別出動件数と構成割合

(平成29年中)



事故種別救助人員と構成割合

(平成29年中)



(注) 構成比は、合計しても100%にならない場合があります。

月別救助出動等の状況

月別に出動の状況をみると、7月が最も多く23件で、次いで2月の22件となり、月平均16.8件の出動となっています。

(平成29年中)

区分 月別	出動件数	活動件数	救助人員	事故種別出動件数								
				火災	交通	水難	自然	機械	建物	ガス・酸欠	破裂	その他
1月	19	14	14	1	5			2	10			1
2月	22	16	18	1	7	2			12			
3月	17	14	11		4	1			9			3
4月	17	10	11	2	6	4			5			
5月	15	12	11	1	7	1			4			2
6月	14	12	7	3	4	2			3			2
7月	23	17	16		3	2			14			4
8月	9	8	7		1			2	5			3
9月	21	17	22		5	3	2	2	4			5
10月	17	11	11		3	1			8			3
11月	8	6	6		3	1			3			1
12月	20	19	14	1	4	3		1	9			2
合計	202	156	148	9	52	20	2	7	86	0	0	26

事故種別・傷病程度別救助人員

救助人員を事故種別・傷病程度別でみると、交通事故による軽症が21人(14.2%)と最も多く、次いで建物等の事故によるの中等症の18人(12.2%)、建物等の事故による軽症15人(10.1%)の順になっています。

(平成29年中)

区分	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
火災		2	1	2	1	6
交通		3	9	10	21	44
水難		3	1	4	6	15
自然					6	6
機械		1	2	1		4
建物		5	7	18	15	55
ガス・酸欠						0
破裂						0
その他				7	6	18
合計		14	20	42	49	148

発生場所別の出動状況

発生場所別に出動の状況を見ると、屋内が104件で、出動件数全体の51.5%を占め、屋外は98件で48.5%となっています。

(平成29年中)

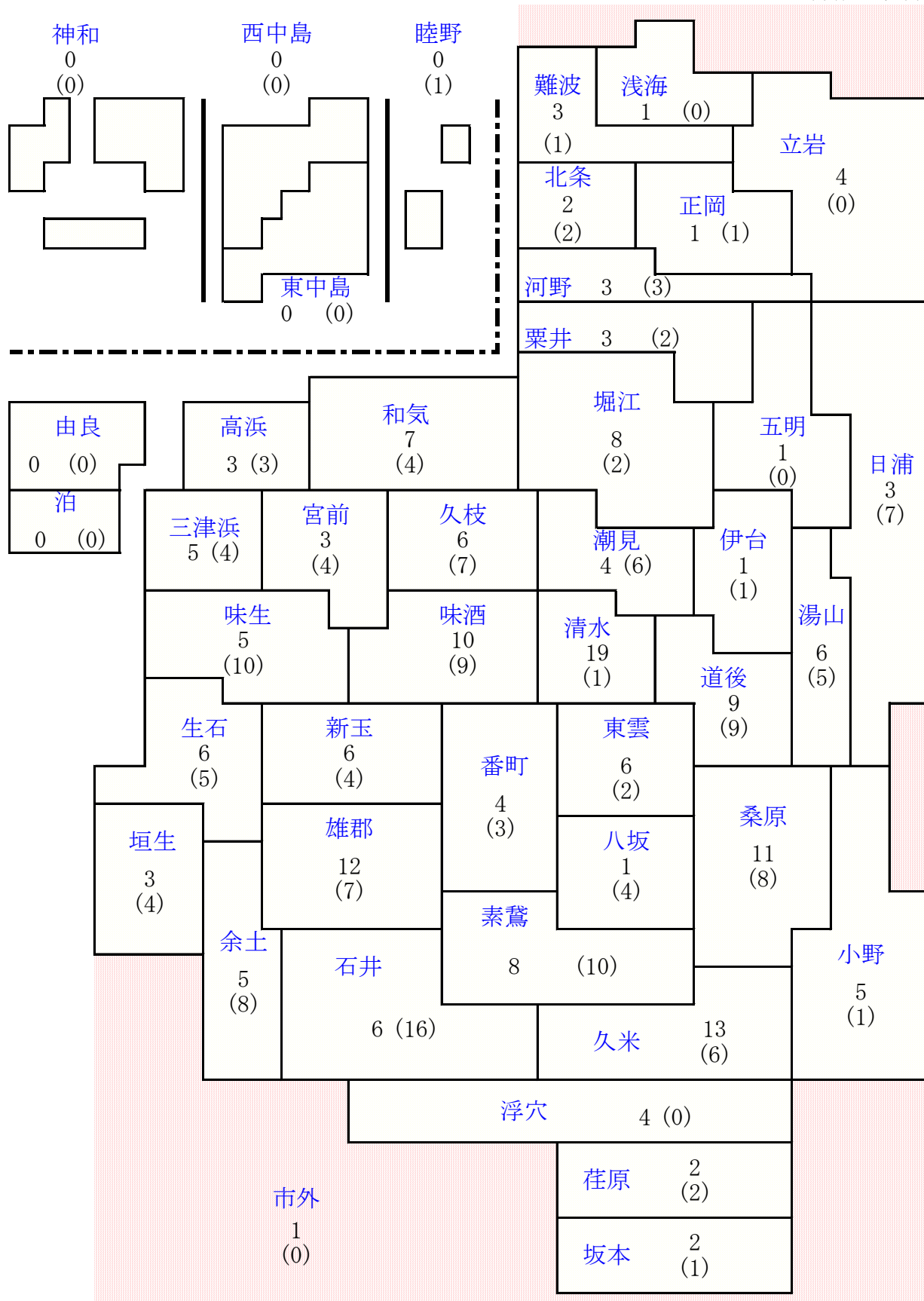
事故種別 発生場所別	火災		交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	合 計
	建 物	建 物 以 外									
屋 内	9					4	84			7	104
	6					2	53			4	65
住 居	9						71			6	86
	6						46			3	55
その他の屋内						4	13			1	18
						2	7			1	10
屋 外			52	20	2	3	2			19	98
			44	15	6	2	2			14	83
高 速 道 路			1								1
											0
その他の道路			44		2					2	48
			37		6					1	44
内 水 面			2	14						4	20
			1	12						4	17
外 水 面				6							6
				3							3
山 岳											0
											0
その他の屋外			5			3	2			13	23
			6			2	2			9	19
地 下											0
											0
そ の 他											0
											0
合 計	9	0	52	20	2	7	86	0	0	26	202
	6	0	44	15	6	4	55	0	0	18	148

(注) 救助人員数

地区別救助出動状況

出動件数 202件 (前年 163件) ※ () 内は前年の発生状況

(平成29年中)



救助隊員の訓練実施状況

(平成29年中)

訓練種別		体力練成 ・訓練	ロープ 基本・応用 訓練	検索・救助 訓練	各種 救助器具 取扱訓練	各種 救助事象 想定訓練	その他の 訓練	合 計
区 分								
中央 消防署	実施延回数 (回)	1,092	6	136	41	211	0	1,486
	実施延人員 (人)	5,127	16	633	259	966	0	7,001
	延実施時間 (時間)	561.0	5.5	271.5	66.5	463.5	0.0	1,368.0
東 消防署	実施延回数 (回)	1,089	260	107	98	91	0	1,645
	実施延人員 (人)	4,839	1,279	460	492	386	0	7,456
	実施延時間 (時間)	544.5	326.5	176.0	116.5	137.0	0.0	1,300.5
南 消防署	実施延回数 (回)	1,755	128	190	77	49	0	2,199
	実施延人員 (人)	8,055	801	867	350	214	0	10,287
	実施延時間 (時間)	919.5	408.5	327.0	104.5	79.5	0.0	1,839.0
西 消防署	実施延回数 (回)	1,446	249	51	52	101	19	1,918
	実施延人員 (人)	7,494	1,603	212	217	411	104	10,041
	実施延時間 (時間)	723.0	473.5	91.0	78.0	176.5	50.5	1,592.5
合 計	実施延回数 (回)	5,382	643	484	268	452	19	7,248
	実施延人員 (人)	25,515	3,699	2,172	1,318	1,977	104	34,785
	実施延時間 (時間)	2,748.0	1,214.0	865.5	365.5	856.5	50.5	6,100.0

消防救助技術大会

第2回愛媛県消防救助技術大会

- ① 実施日：平成29年7月4日(火)
- ② 実施場所：愛媛県松山市勝岡町1163番地15 愛媛県消防学校
- ③ 出場種目及び人員数(予定)：3種目 20名
- ④ 結果

種目	標準所要時間	成績	結果
ロープブリッジ渡過	28秒		愛媛県内台風第3号接近に伴う災害警戒のため中止
はしご登はん	24秒		
ロープ応用登はん	16秒		

第46回消防救助技術四国地区指導会

- ① 実施日：平成29年7月21日(金)
- ② 実施場所：徳島県板野郡北島町鯛浜字大西165
【陸上の部、水上の部】徳島県消防学校
- ③ 出場種目及び人員数：4種目 10名
- ④ 結果

種目	標準所要時間	成績	結果
ロープブリッジ渡過	28秒	18.3秒 100/100点	入賞(四国1位)
はしご登はん	24秒	18.9秒 100/100点	入賞
		15.5秒 70/100点	—
		16.4秒 70/100点	—
ロープ応用登はん	16秒	15.0秒 200/200点	入賞
ロープブリッジ救出	1分15秒	1分3.9秒 400/400点	入賞

第46回全国消防救助技術大会

- ① 実施日：平成29年8月23日(水)
- ② 実施場所：宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1
【陸上の部、水上の部】宮城県総合運動公園 グランディ・21
- ③ 出場種目及び人員数：1種目 1名
- ④ 結果

種目	標準所要時間	成績	結果
ロープブリッジ渡過	28秒	18.0秒 100/100点	入賞

国際消防救助隊（IRT）

海外の地域において大規模な災害が発生した場合に、被災国からの要請に応じて、救助活動、医療活動、災害応急対策・災害復旧のための活動を行うために組織される部隊を国際緊急援助隊と言い、そのうち救助活動に従事する消防救助チームが国際消防救助隊と呼ばれます。

国際消防救助隊は、英語で「International Rescue Team of Japanese Fireservice」、略称「IRT-JF」とし、愛称が「愛ある手」とされています。

現在IRTは、全国の消防本部のうち77消防本部から選抜された599名の救助隊員で構成されており、松山市消防局からは6名の救助隊員が登録されています。



平成29年度国際緊急援助隊携行資機材メンテナンス会（成田空港）



平成29年度愛媛県消防長会 県下救助隊合同訓練（松山市西消防署）

MEMO